

■1 目的

- (1) 各校が特色ある教育活動を実践し、被災した児童生徒一人一人の学力の向上を図る。
- (2) 被災中学校生徒の ICT に対応する能力の向上を通して、将来の職業選択の幅を広げるための教育活動を実践する。

■2 事業費

○事業費決算 32,276,840 円

■3 創意工夫支援事業補助金事業、ICT活用教育支援事業

(1) 小学校

- ① 語彙力や調べる力、表現力の育成
 - 国語辞典（辞書引き活動）・漢字辞典の活用
 - 子ども新聞等の活用
- ② 基礎・基本の定着を高める指導の充実
 - 国語、算数のドリル学習の充実(学習プリント、問題集・学習ソフト活用)
- ③ ICT機器を活用した授業改善
 - デジタル教科書、学習コンテンツを活用した指導
 - iPad、電子黒板の効果的な活用
- ④ 各種検定を活用した学習意欲と学力向上
 - 実用数学技能検定、漢字検定
- ⑤ 外部講師を招聘しての授業や講演会の実施
 - 大学教授による算数やICTの授業
 - ライフガードによる命の授業
 - 教育漫才による表現力の育成（授業・発表会）

(2) 中学校

- ① 語彙力や表現力の育成
 - 新聞の活用
- ② 基礎・基本の定着を高める指導の充実
 - 習熟の時間の充実(問題集活用)
 - 週末課題の充実(問題集活用)
 - 長期休業中の学習会の実施(問題集活用)
- ③ ICT機器を活用した授業改善
 - デジタル教科書、学習コンテンツを活用した指導
 - iPad、電子黒板の効果的な活用
- ④ 各種検定実施による学習意欲と学力向上
 - 漢検、数検、英検の実施
- ⑤ 外部講師を招聘しての授業や講演会の実施
 - キャリア教育ワークショップ
 - 大学教授による心の授業
 - 進学塾（予備校）講師による進路講演会
 - 進学塾（予備校）講師による数学・英語授業

【小学校における授業の様子】



【教育漫才による表現力の育成】



【子ども新聞の活用による読む力・書く力の育成】



【国語辞典の活用による語彙力の育成】



【電子黒板を活用した授業実践(算数・音楽)】



【大学教授による授業 算数・道徳(命の大切さ)】



【ライフガードによる授業】



【授業と家庭学習の連携・問題集活用】

【中学校における授業の様子】



【予備校講師による英語の授業】



【大学教授の講演会】



【長期休業中の学習会】



【新聞記事活用 当番が毎日掲示】

■5 成果と課題

(1) 成果

[児童・生徒]

- ① 国語辞典や漢字辞典を活用することで言葉に関心を持つ児童が増え、調べる習慣が身につく、語彙力の向上だけでなく国語全体の学力向上にもつながった。
- ② 子ども新聞の活用により、社会への関心が高まり、主体的に情報を得ようとする態度の育成にも寄与している。また、記事へのコメントを記述する学習を継続したことにより、読む力、書く力の充実だけでなく表現力も向上した。
- ③ ICT機器の活用によって、子どもたちにとって「分かる・できる授業」が実践されるようになった。技能教科での活用も高まり、体育での運動技能向上、音楽での表現力育成に成果が表れている。
- ④ 各種検定や問題集を活用し、目標を持たせることで、学習意欲の向上を図ることができた。家庭での学習習慣定着も高まっている。
- ⑤ 進学塾（予備校）による講演会によって、進路選択の重要性、学力を高めるための学習法について学ぶことができた。

[保護者・地域]

- ① 学校だより等で創意工夫支援事業についての取組を周知したことで、各校での特色ある実践や学力についての関心が高まった。

[教職員]

- ① 講演会では、授業改善の糸口となる手法を学び取ったり、最新の教育情報を入手したりすることで、スキルアップにつながった。授業改善へ取り組む意識が高まるなど、研修への意欲も高まっている。
- ② 基礎・基本を身に付ける場面では、ICTを活用して効率化・コンパクト化を図り、習得したことを活用する力を身に付ける場面では、ICTを使って自分の考えや思いを発表したり、話しあったりする時間を確保する等、授業スタイルの質的改善も進んでいる。

(2) 課題

- ① 児童生徒の家庭学習の充実・習慣化を図るため、保護者の協力を得る。
- ② 児童生徒の基礎・基本の定着を図るだけでなく活用力の育成を図ることで、力強く生き抜く子どもの育成をめざす。
- ③ ICT機器や学習コンテンツについては今後も整備を進め、より効果的な活用を図っていく。
- ④ 教職員の研修意欲をさらに高め、子どもたちの自己実現に資する授業力を身につける。